

【小1プロブレム対策】

「わくわく！小学校体験ルーム♪」の本格実施について

～小学校入学に対する子どもたちの不安を減らし、わくわく感と安心感に繋げよう！～

松戸市では、入学したての子どもたちが先生の話が聞けない、じっと座ってられないなどの、いわゆる「小1プロブレム」を軽減するため、幼保小連携に関する新たな取り組みとして昨年12月より松戸市立松飛台小学校において「わくわく！小学校体験ルーム♪」を試行的に実施してきましたが、市内全域をカバーするために9月から2校増やし、3校体制で本格実施しますので、お知らせいたします。

また、こどもまんなか社会の実現に向け、子どもたちの興味や気持ちに添えられるよう、園と市と学校の職員が連携して様々なアイデアを出し合いながらこの体験活動を支え、取り組みを進めています。

●**目的** いきいきとした小学校生活をスタートできるように、就学前に体験ルームで楽しく過ごすことで、子どもたちの小学校入学に対する不安を減らし、わくわく感と安心感に繋げるため。

●**実施校（3校）** 市立松飛台小学校、市立馬橋北小学校、市立大橋小学校

小学1年生の教室を再現した貸出専用の体験ルームを使い、子どもたちが1年生の学校生活をじっくりと体験できる機会を提供します。

●**利用者（団体）**

公立、私立を問わず、市内の幼稚園、保育所（園）、認定こども園に在籍する主に年長児の子どもたちが、園単位またはクラス単位で利用しています。

●**体験内容**

体験ルームでは園の先生が小1の先生役を担っています。

- ・ なぞり書きのプリントや算数セットを使った授業を体験
- ・ 白衣を着ておもちゃの食材で給食当番体験
- ・ 時間を意識しチャイムに合わせて行動する体験
- ・ 学校について、小学校の先生に質問したり話を聞く など





●体験した子どもたちの感想

「楽しかった！またやりたい！小学校に行くのが楽しみになった。」

●体験ルーム予約状況について

今年度の予約については、市内の幼稚園・保育園・認定こども園51園から計81日間、申し込みをいただいています（9月末時点）。その他にも、日程も含めて相談を受けている調整中の仮予約が20日間程あり、大変盛況となっています。

《参考》

1. 小1プロブレムとは？

「学校生活に馴染めない状態が続くこと」

- ・先生の話が聞けない
- ・すぐしゃべってしまう
- ・じっと座ってられない
- ・時間が守れない
- ・気分がのらないとやらない
- ・グループ活動ができない

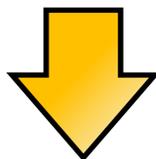
その要因は？

「幼稚園・保育園とのギャップ」

- ・遊び中心から勉強中心に
- ・集団生活、集団行動が求められる
- ・自律的な行動が求められる
- ・1クラスの人数が増える

「コミュニケーション力が育ちにくい環境」

- ・人と関わる機会の減少、社会変化
- ・親の子育ての孤立化による未熟さ
- ・子どもも親も自尊感情が低い



子どもは急激な環境変化に対応しきれず、適応に時間を要する
この状態が長期化すると、授業やクラス運営が成り立たなくなる

・子どもの成長に悪影響 ・自己肯定感の減少 ・教員の負担増 ・子どもの暴力 ・不登校

2. 体験ルームのコンセプトとポリシー

コンセプト

環境（場所）が変わる

先生が変わる

お友達が変わる

学び方が変わる
(遊びスタイルからお勉強スタイルに)

まずは、
ここだけ

こっちは
変えず・・・



※ただし、小学校にあがる際のある程度の緊張感やドキドキも子どもの成長には必要不可欠なものです。

ポリシー

予算に頼らない

行動力とアイデア勝負

教員に負担をかけない

3. 利用者の声（昨年度）

（子どもたち）

教室で色々なことをして楽しかった。特に、給食当番ごっこや黒板に絵を書いたり、防犯ブザーを鳴らすのが面白かった。それと、学校のことでわからなかったことを先生に聞くことができて嬉しかった。また行きたい。1年生になるのが楽しみになった。

（園の先生）



小学校が楽しいところだと子どもたちに経験させることができたので、保育者として子どもたちを安心して送り出すことができると自信が持てました。実際に学校生活を体験することで入学後のイメージができ、就学に向けての更なる期待が膨らんだように感じています。来年度も必ず子ど

もたちを連れてきます。他の園にもお勧めしておきます。

（保護者）

子どもがプリントを持って帰ってきて、体験ルームで遊んできたことを家で嬉しそうに話をしてくれました。小学校入学に向け、規則正しい生活を心掛けるなど家庭でもできることを考えてみたいと思います。貴重な取り組みだと思うので、これからも続けてほしいです。

（小学校の先生）



体験活動が終わった後の子どもたちの様子を見ると、子どもたちの小学校入学に対する不安はだいぶ軽減できたのではないだろうか。園の先生方と様々な情報を交換したり、年長児の様子が知ることでもできて今後の指導にも役立てていける気がしています。幼稚園保育園の先生方がとても熱心で、入学に向けて何を身につけさせればよいのかと、とても心配していることがわかりました。教員としては、どんなお子さんでもどんどこいという気持ちでしたが、幼稚園保育園の先生方の気持ちをきちんと受け取り、お子さんがスムーズに授業に取り組めるようにしたいと思いました。

『幼保小連携』

わくわく！小学校体験ルーム



馬橋北小
たいけんルーム

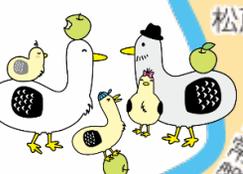
《松戸市新松戸南2-1》

松飛台小
たいけんルーム

《松戸市五香西4-22-1》

大橋小
たいけんルーム

《松戸市二十世紀が丘梨元町32》



NEW
市内全域をカバーするため、2025年秋より3校体制で取り組み拡大！



やさシティ、まつど。
matsudo